

テクスチャの追加登録方法

文書管理番号：1023-01

Q. 質問

外壁材や内装材などの部材色を追加したい。

A. 回答

3D パース、鳥瞰図、カラー立面で使用する外壁材や内装材の部材色は、3D 色定義ツールを利用して追加登録が行えます。

ここでは、外壁材などの部材色の元になる画像データを取り込み、登録する方法を説明します。

画像データの準備と保存

- **部材色として利用する画像データの準備**

画像データは、メーカーのホームページなどから入手するか、お持ちの画像作成・編集ソフトを利用してご用意ください。

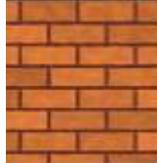
利用できる画像の形式は、BMP、JPG、TIFF、PNG です。

- **部材色として利用できる画像データについて**

外壁材や内装材として利用する画像データは、壁面など広い範囲に繰り返し並べて表現されます。

そのため、繰り返し並べた時に目地や模様が揃わないもの、光の当たり方に陰影があるものは部材色として適していません。

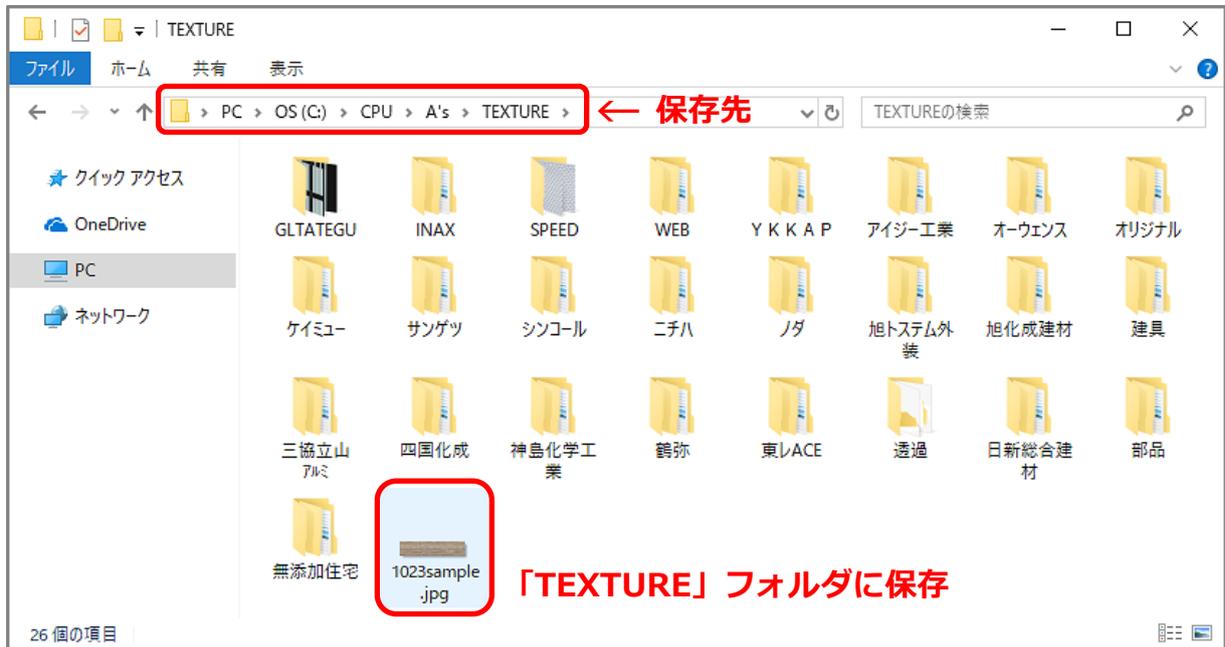
<部材色に適さない画像の例>

			
斜めになっている	陰影がある	余白がある	目地がズれている

● 画像データの保存先

部材色を登録後に、画像データの保存先を変更すると、正常に表示されなくなります。

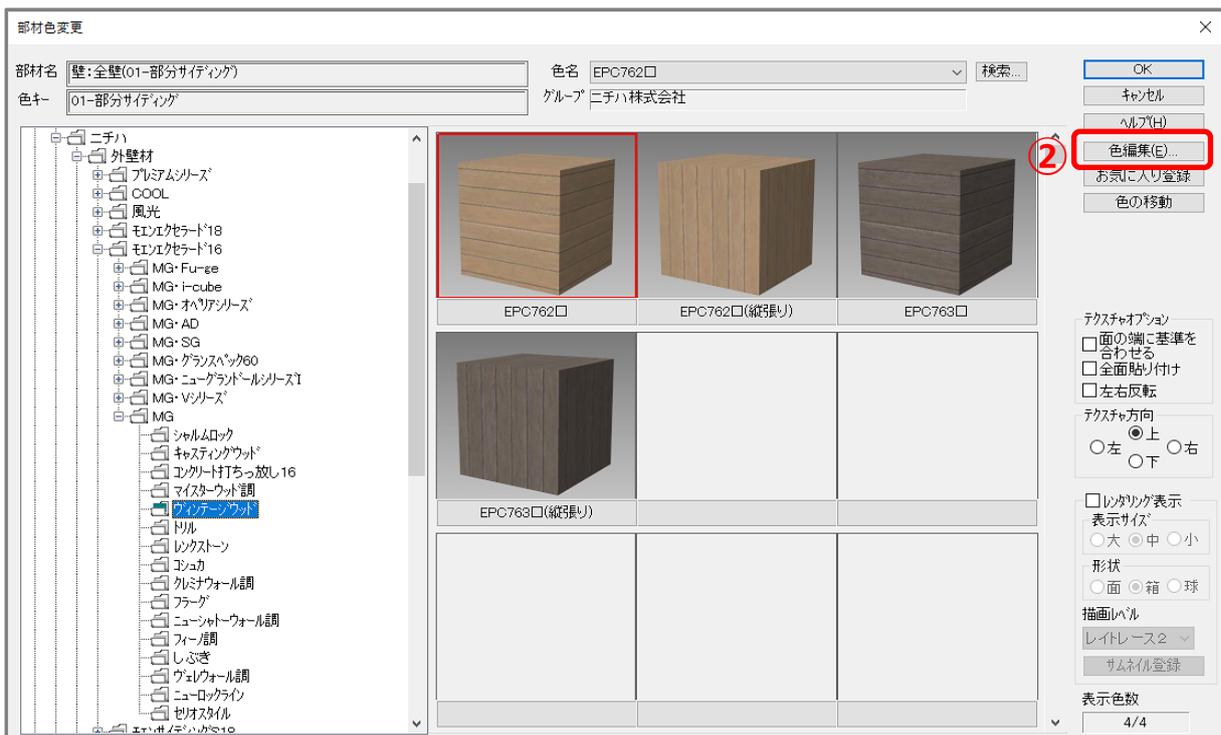
A's(エース)のインストールフォルダ「¥CPU¥A's」内にある「TEXTURE」フォルダに、追加する部材色の画像データを保存して、登録を行ってください。



操作手順

- ① (3D パース)などで「部材色変更」を開く

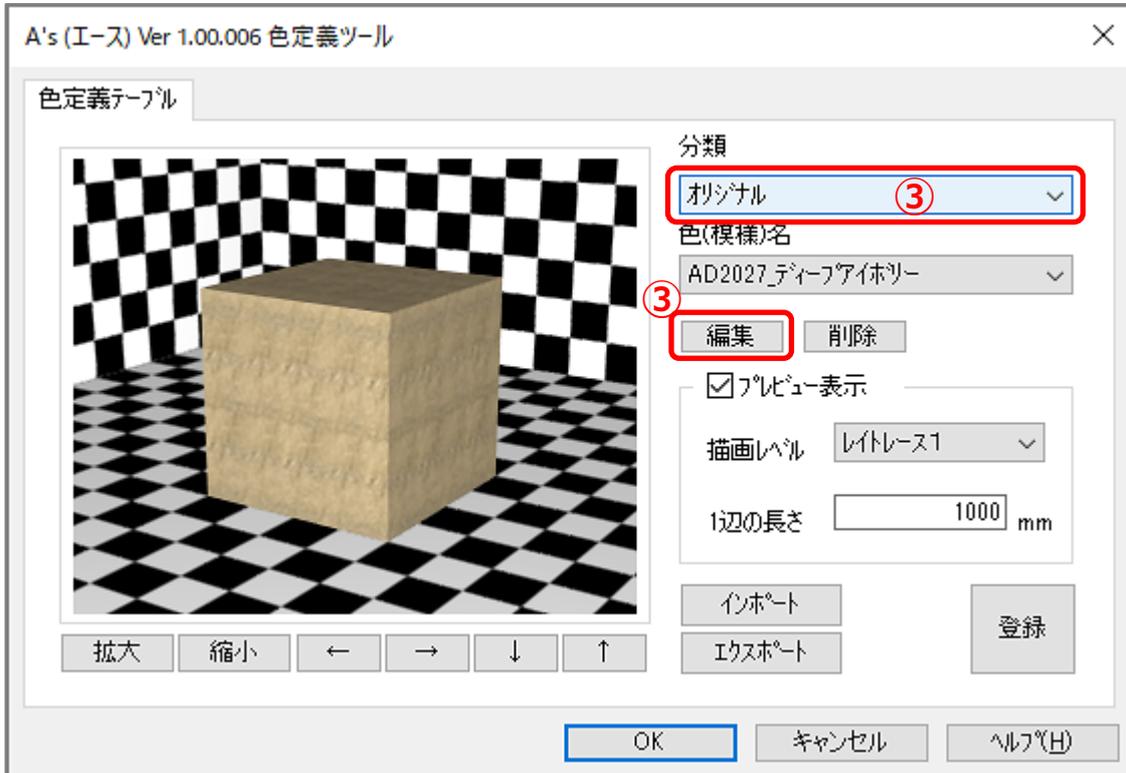
* 部材色変更の画面が表示されます。



② 「色編集」をクリック

- * 色定義ツールが起動します。

③ 部材色を追加する分類を選択し、「編集」をクリック



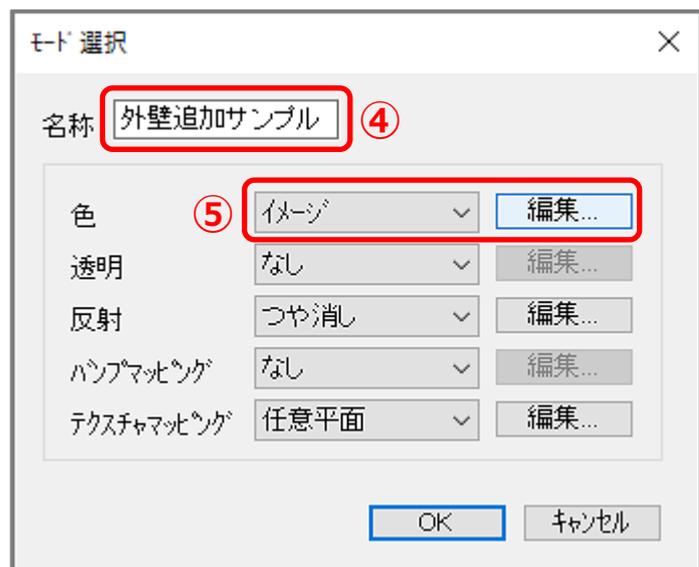
- * ここでは分類は「オリジナル」を選択しています。
- * モード選択の画面が表示されます。

④ 追加する部材色の名称を入力

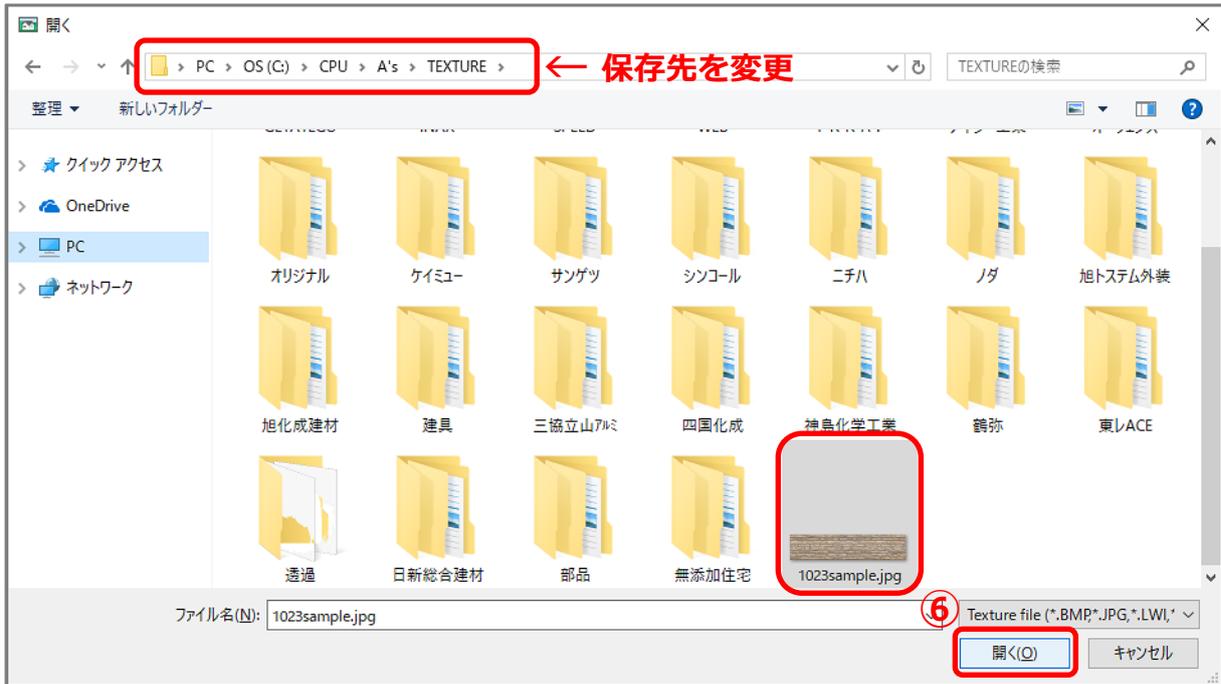
- * ここでは「外壁追加サンプル」としてあります。

⑤ 色は「イメージ」を選択

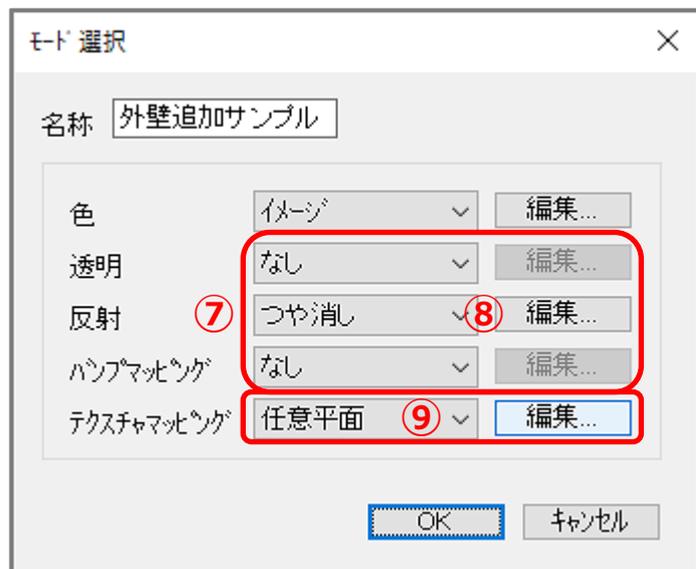
- * ファイルを「開く」の画面が表示されます。
- * 「イメージ」を選択済みの場合は、コンボボックスの右の「編集」をクリックします（以下の作業でも同様です）。



⑥ 保存先を「TEXTURE」に変更し、利用する画像データを選択して「開く」をクリック

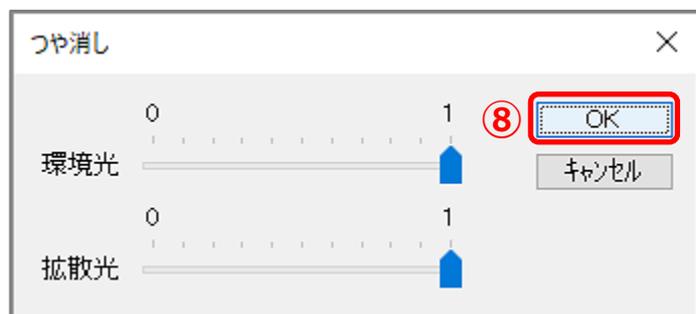


⑦ 透明は「なし」、反射は「つや消し」、
バンプマッピングは「なし」を選択
* 反射を「なし」にすると、その部材
色に影が表現されません。

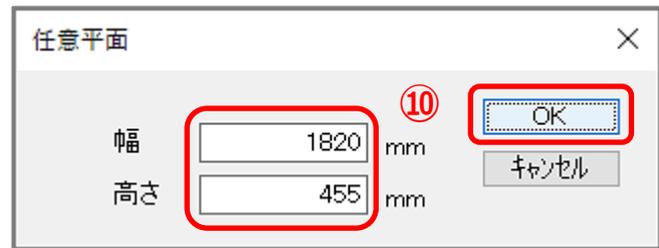


⑧ 反射の「編集」からつや消しの設定を
確認し、「OK」をクリック

* 通常は「環境光 : 1」、「拡散光 : 1」
のままでかまいません。
必要に応じて調整してください。

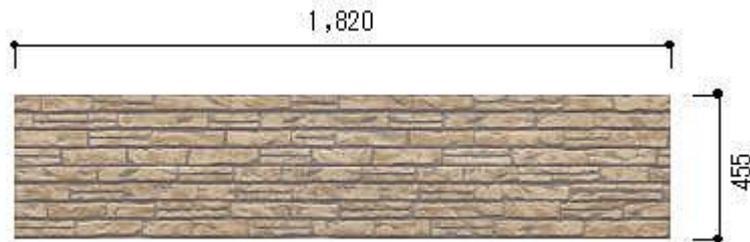


- ⑨ テクスチャマッピングは「任意平面」を選択
 * 任意平面の設定画面が表示されます。



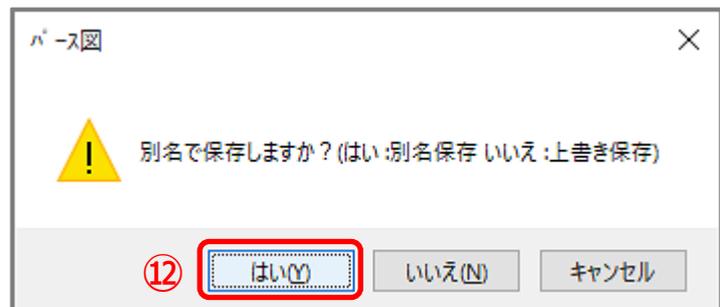
- ⑩ 任意平面の設定に、登録する部材色のサイズ
 を入力し「OK」をクリック

- * 利用する画像が表す実際の部材のサイズ（実寸）を確認し、mm 単位で入力します。
- * 例えば、使用する画像の実寸が下記のような場合、幅 = 1820、高さ = 455 となります。



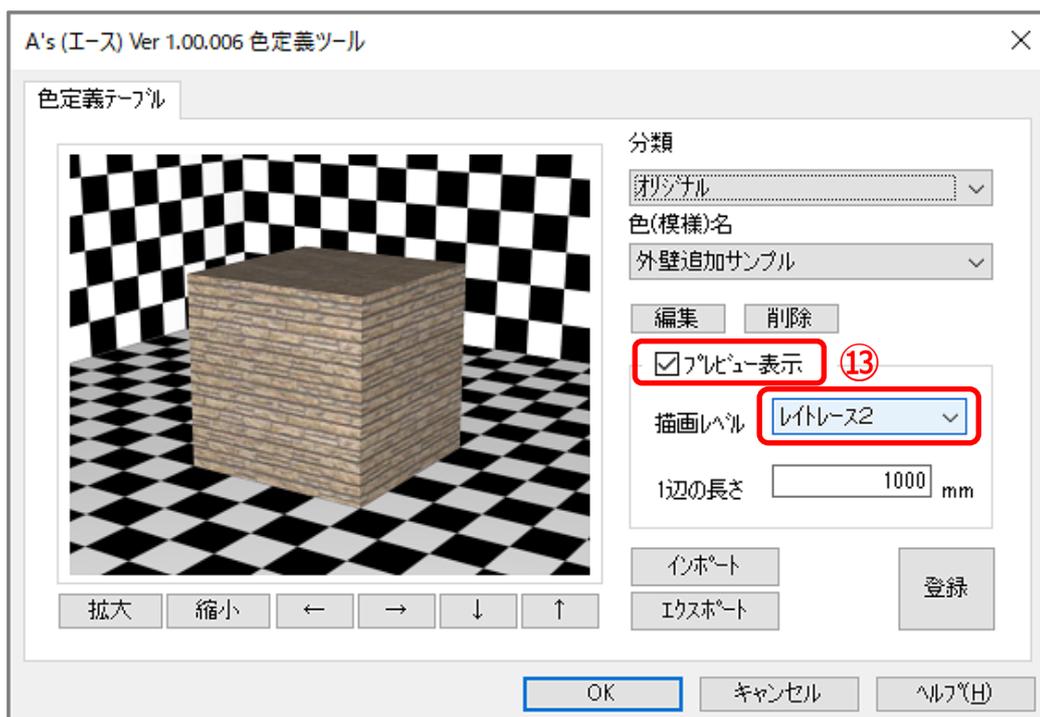
- ⑪ 設定後、モード選択画面の「OK」を
 クリック

- * 別名保存の確認メッセージが表示
 されます。



- ⑫ 「はい」をクリック

- ⑬ 色定義ツールでプレビュー表示にチェックを入れ、描画レベルから「レイトレース 2」を選択し、
 プレビューを確認



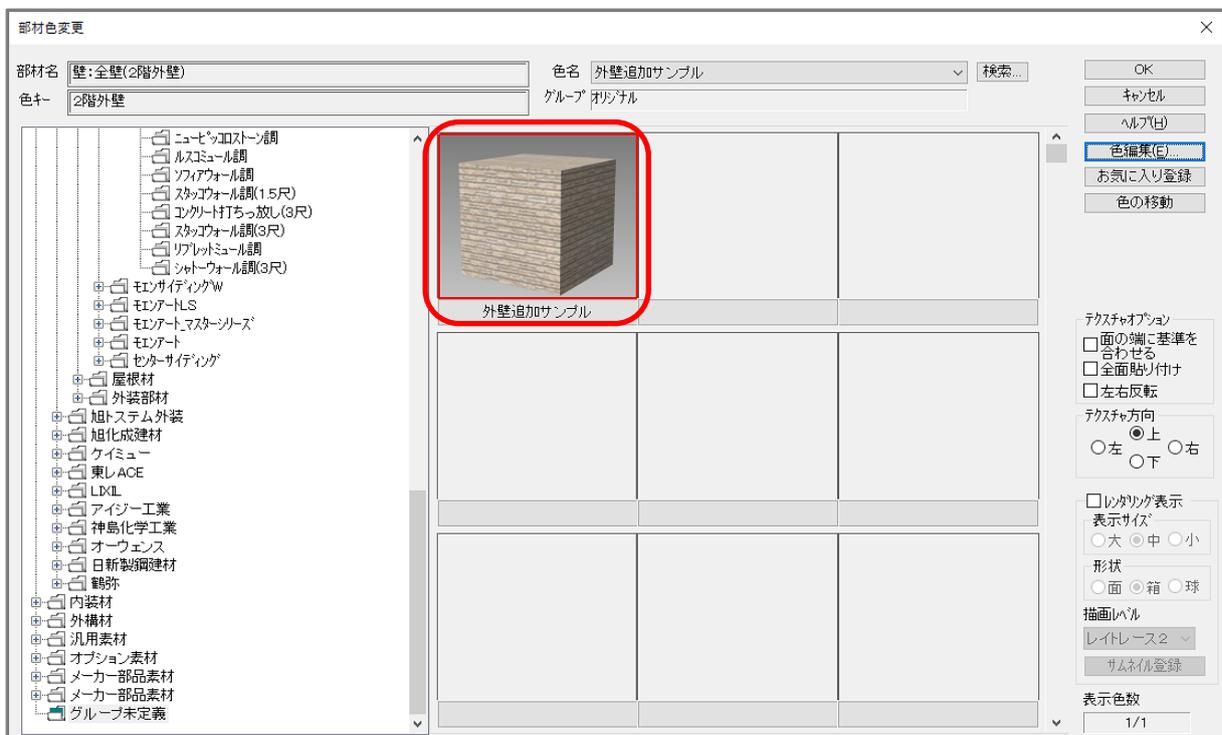
⑭ 色定義ツールの「登録」をクリック



* ここで「登録」しないまま色定義ツールを閉じると、追加・編集した内容が正しく保存されません。必ず「登録」をクリックしてください。

⑮ 「OK」をクリック

* 「部材色変更」の「グループ未定義」フォルダに、登録した部材色が追加されます。



<登録した部材色を外壁に設定した例>



【参考】

P.3 操作③で「オリジナル」の分類を選択し、追加した部材色の情報は、部材色変更の「グループ未定義」フォルダに追加されます。

「オリジナル」以外の分類に追加した部材色は、それぞれのメーカーのフォルダに追加されます。